

令和3年5月31日～6月6日までの全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況 及び熱中症による救急搬送人員数と暑さ指数(WBGT)の関係について (令和3年度第5報)

1. 全国の暑さ指数(WBGT)の観測状況について

この期間の6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は「注意」を示す21以上が続きました。6都市の10年間平均値と比較すると、1日から3日にかけて1以上高く、4日から5日は1以上低くなるなど、小刻みに変化する週でした(図1、表1参照)。

11都市(注2)では、仙台、新潟、名古屋、福岡、鹿児島で「警戒」を示す25以上の日があり、那覇は期間中「危険」を示す31以上となる日もありました(表1、表2参照)。

全国を見ると、東北地方以南は「警戒」を示す25以上となる日もあり、沖縄地方では「危険」を示す31以上となる日がありました。

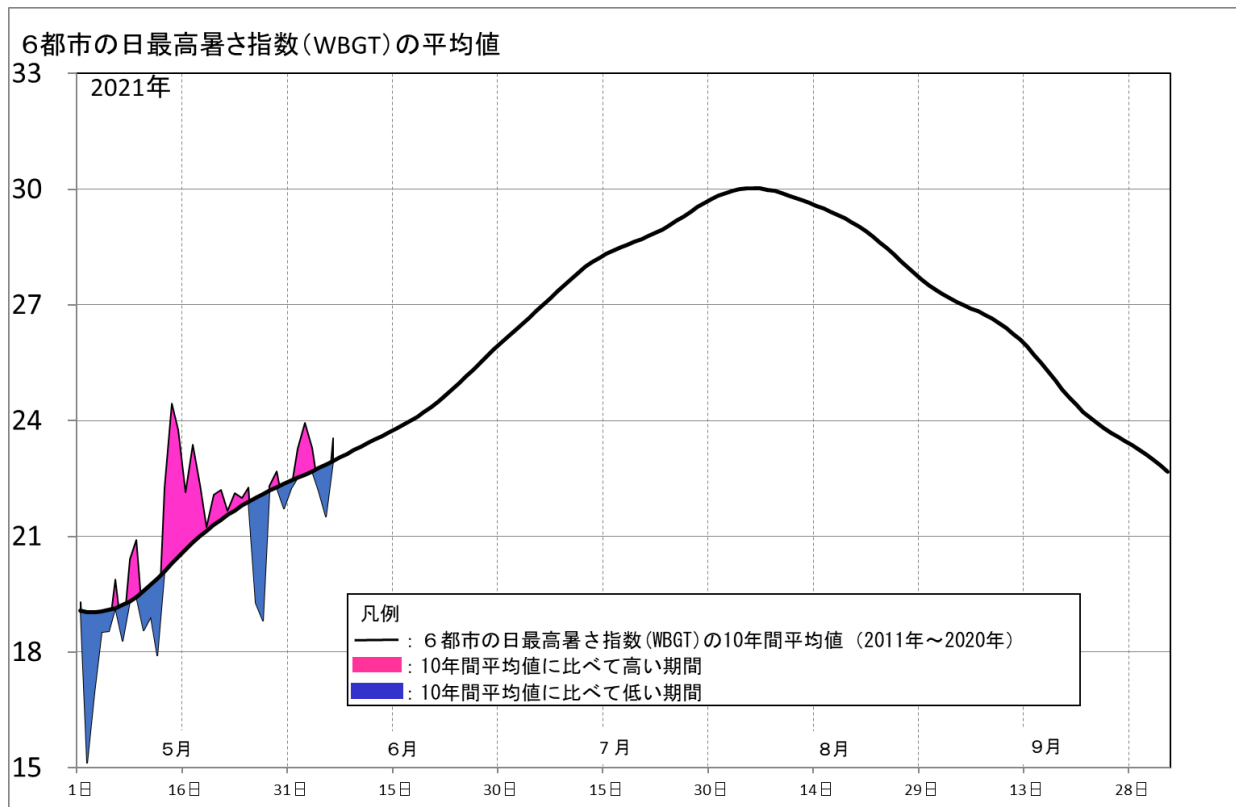


図1 全国の暑さ指数(WBGT)の動向と過去10年間平均値との比較

表1 全国11都市(注2)の日最高暑さ指数(WBGT)(5月31日～6月6日)(注3)

日	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇	6都市平均
31	12.9	20.4	18.9	23.4	23.8	21.2	21.0	23.5	25.2	26.7	27.1	22.3
1	15.8	19.6	19.3	22.9	25.2	22.6	23.0	24.0	26.6	25.7	27.6	23.3
2	19.1	23.2	22.6	24.6	24.2	23.8	23.1	24.2	25.4	24.1	29.1	24.0
3	20.7	22.8	25.4	24.1	23.6	23.6	20.2	23.7	22.9	22.8	30.6	23.3
4	17.4	19.0	20.4	23.4	22.9	21.8	21.8	24.3	22.8	24.5	31.3	22.2
5	20.9	22.7	20.9	24.9	21.8	21.0	19.9	21.4	20.6	20.0	30.4	21.5
6	21.3	25.3	22.7	24.1	24.0	23.3	23.0	23.1	24.2	22.9	29.9	23.6

(注1) 6都市：東京都、大阪市、名古屋市、新潟市、広島市、福岡市

(注2) 11都市：札幌市、仙台市、新潟市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高知市、福岡市、鹿児島市、那覇市

(注3) 表1、表2の値は速報値であり、年末に発表される確定値とは異なる場合があります。

表2 全国11都市の5月31日～6月6日の暑さ指数(WBGT)超過時間数(注3)

超過時間数	札幌	仙台	新潟	東京	名古屋	大阪	広島	高知	福岡	鹿児島	那覇
31以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
28以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38
25以上	0	1	1	0	2	0	0	0	9	8	122

ほぼ安全	注意	警戒	嚴重警戒	危険
21未満	21以上25未満	25以上28未満	28以上31未満	31以上

2. 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)と熱中症による救急搬送人員数(全国)との関係

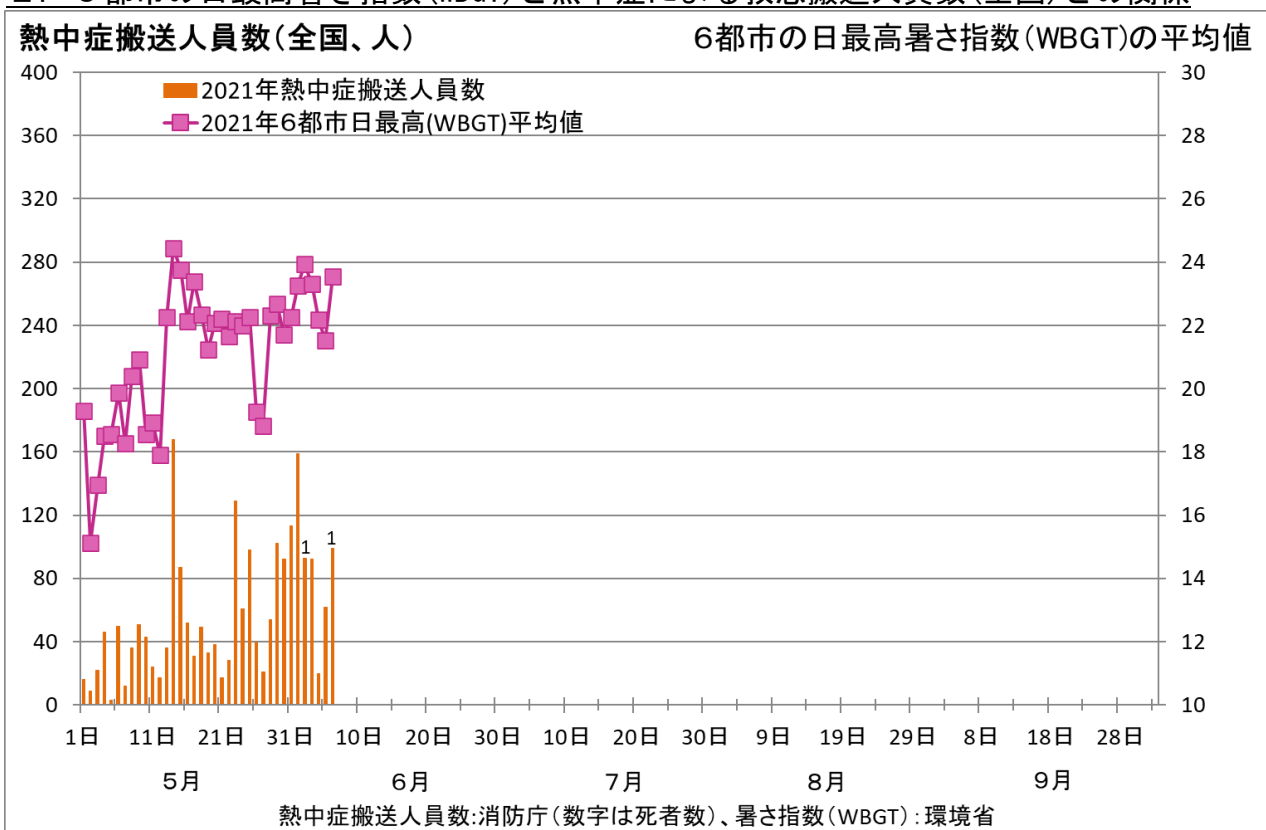


図2 6都市の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値と熱中症搬送人員数の推移

5月31日から6月6日までの6都市(注1)の日最高暑さ指数(WBGT)の平均値は、「注意」を示す21以上が続きました(表1、図1)。消防庁発表の速報によると、熱中症による救急搬送人員数は、6月1日の159名が最高で、この期間の総数は638人(死者2人を含む)となりました(図2)。

3. 全国の熱中症警戒アラートの発表状況

5月31日から6月6日までの全国の熱中症警戒アラート発表状況をお知らせします。この期間のアラート発表は、沖縄でのべ2回ありました（表3）。

表3 全国の熱中症警戒アラート発表状況（5月31日から6月6日）

地方 ^{※1}	北海道	東北	関東甲信	東海	北陸	近畿
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0	0	0
のべ回数	0	0	0	0	0	0
地方 ^{※1}	中国	四国	九州北部 ^{※3}	九州南部・奄美		沖縄
域内平均 ^{※2}	0	0	0	0		0.5
のべ回数	0	0	0	0		2

※1：気象庁の地方予報区単位（別図参照）

※2：「地方内府県予報区の1週間ののべ発表回数」÷「地方内府県予報区数」

回数は前日17時、当日5時どちらかの発表で1回とカウント

※3：九州北部には山口県も含まれる

4. 今後の見通しと注意点

6月11日までは、全国的に「警戒」を示す25以上、東北地方以南では「厳重警戒」を示す28以上、沖縄地方では「危険」を示す31以上となる地点がある見込みです。

気象庁の週間天気予報（6月9日発表、予報期間：6月10日～6月16日）によると、「最高気温と最低気温はともに、全国的に平年並か平年より高い日が多い見込みですが、西日本では平年より低い日もあるでしょう。」となっております。

○低気圧等の影響で湿度が上がる日には暑さ指数(WBGT)が上昇することがあります。引き続き熱中症にお気を付け下さい。

